

東海

2017年度 4号

東海大学山形高等学校 学校報

発行日 2017年12月22日

発行 東海大学山形高等学校

編集 広報委員会

〒990-2339 山形市成沢西3-4-5

TEL (023) 688-3022

FAX (023) 688-3023

ホームページURL

<http://www.ymgt-tokai.ed.jp/>

祝 第68回全国高等学校駅伝競走大会出場 2017年12月24日(日)
京都市西京極総合運動公園陸上競技場



男子陸上競技部

小川裕介、佐藤海斗、原 拓巨、松田圭吾、石山直人、東海林雄斗、川口航士郎、須貝哲也、荒井駿太、大沼 翼
(3-2 国府津中)(3-3 尾花沢中)(3-5 山形四中)(3-5 天童四中)(3-6 山形一中)(3-6 天童四中)(3-8 山形二中)(2-2 山形十中)(2-5 神町中)(2-7 大江中)



女子陸上競技部

岸 汐理、二瓶実里、佐竹結衣、土屋里菜、矢田目朱音、川田愛佳、間宮桜子、後藤陽菜
(3-2 山形十中)(2-2 神町中)(2-4 朝日中)(2-7 山辺中)(2-7 山形四中)(1-2 山形十中)(1-4 尾花沢中)(1-7 天童一中)

入試日程

2018年1月19日(金)

推薦入試Ⅰ 学業奨学生入試

2018年1月31日(水)

一般入試

2018年3月20日(火)

推薦入試Ⅱ

修学旅行

11月13日(月)～17日(金)

沖縄コース、広島・関西コース、台湾コース

分散型15年目の今年の修学旅行は3コースでの実施となりました。それぞれのコースで戦跡を訪れ、戦争経験者の講演に耳を傾けました。戦争の悲惨さを未来に語り継ぐ大切さをかみしめた旅行になりました。



今年の沖縄は、天気に恵まれました。1日目は、首里城を見学しました。2日目は平和ガイドから識名壕、県庁壕を案内していただき、ひめゆり資料館で証言ビデオを鑑賞し、平和祈念堂で久保田さんより平和についての講演をいただきました。白梅の塔、山形の塔では、平和宣言の後、黙とう、千羽鶴奉納を行いました。

旧海軍司令部壕や沖縄県立平和祈念資料館・ひめゆり平和祈念資料館などでは、事前学習の成果もあり、時間が足りなくなるほどしっかり見学することができました。



1日目、広島平和記念公園「原爆の子の像」を前に平和セレモニーを行いました。生徒・教員一同、この地で亡くなられた方々に想いを馳せ、千羽鶴を捧げました。その後、被爆体験者の講話に耳を傾けました。

2日目以降、関西地方では、世界遺産や国宝などの文化遺産を見学しました。最後にはU.S.J・水族館で大阪の最新の文化を体験してきました。

西日本の古代から現代に至る流れを体感できた、思い出に残る修学旅行でした。



3コースの中で唯一の海外である台湾に行ってきました。親日国として知られる台湾ですが、そこには昔日本が台湾を統治していたという時代背景があります。平和学習では、太平洋戦争時に日本のために戦い、戦死した方々の奉られている烏来という地を訪れました。慰霊碑に献花し平和について考えることができました。

そして海外旅行の大きな目的の一つとして異文化交流があります。台湾の歴史ある場所や人々の行きかう街中を散策したり、現地の高校生と交流してきました。ふだんの学校生活では味わえない経験をして、自分の世界を広げることができました。

クラスマッチ（1年生・3年生）

修学旅行期間の11月13日(月)に1年生、14日(火)に3年生のクラスマッチがそれぞれ行われました。クラスTシャツを着て、男女それぞれバスケットボールやバレー、サッカーなどの球技を行いました。クラスの団結を深めながらそれぞれ白熱したゲームが展開されました。

1学年



3学年



東海大学付属推薦入学試験 合格発表52名

1月25日(土)に東海大学付属推薦入学試験の合格発表が行われ、52名の生徒に合格通知が手渡されました。続いて東海大学一貫教育センターの佐藤修氏を講師に迎え、東海大学生活説明会を行いました。合格者には大学から入学前学習課題や個別指導課題が与えられており、入学に向けて準備を進めていくことになります。

【合格学部学科一覧】

医学部 医学科	1名
文学部 歴史学科 考古学専攻	2名
文学部 歴史学科 日本史専攻	1名
文化社会学部 広報メディア学科	1名
文化社会学部 北欧学科	1名
政治経済学部 政治学科	4名
政治経済学部 経済学科	2名
政治経済学部 経営学科	1名
法学部 法律学科	7名
教養学部 人間環境学科 社会環境課程	1名
教養学部 人間環境学科 自然環境課程	1名
教養学部 芸術学科 デザイン学課程	1名
体育学部 競技スポーツ学科	1名
体育学部 生涯スポーツ学科	1名
健康学部 健康マネジメント学科	3名
理学部 数学科	1名
情報理工学部 情報科学科	1名
情報理工学部 コンピュータ応用工学科	1名
工学部 電気電子工学科	2名
工学部 材料科学科	1名
工学部 建築学科	1名
工学部 土木工学科	1名
工学部 精密工学科	1名
工学部 機械工学科	1名
工学部 動力機械工学科	2名
海洋学部 海洋生物学科	1名
海洋学部 海洋文明学科	1名
経営学部 観光ビジネス学科	1名
基盤工学部 医療福祉工学科	1名
農学部 応用植物科学科	1名
国際文化学部 国際コミュニケーション学科	1名
国際文化学部 地域創造学科	2名
国際文化学部 デザイン文化学科	2名
生物学部 海洋生物科学科	1名
医療技術短期大学 看護学科	1名

県高校駅伝競走大会 男女アベック優勝！！

10月28日(日)に、県高校駅伝競走大会が長井市陸上競技場発着のながい黒獅子ハーフマラソンコースで行われました。男女ともトランク勝負となりましたが、山形県初のアベック優勝を達成しました。男子は、2年ぶり15回目、女子は創部以来悲願であった初優勝に輝きました。

男子は、一時1位と43秒もの差が開き苦しい展開でしたが、5区の石山直人(3-6 山形一中)が区間新記録の走りを見せ、6区須貝哲也(2-2 山形十中)、7区佐藤海斗(3-3 尾花沢中)も区間賞の力走、逆転で優勝することができました。

女子は、1区岸汐理(3-2 山形十中)と4区矢田目朱音(2-7 山形四中)が区間賞、3区川田愛佳(1-2 山形十中)と5区土屋里菜(2-7 山辺中)が区間新記録をマークし、初の栄冠を勝ち取ることができました。

両チームとも、12月24日(日)に京都府で行われる全国高校駅伝競走大会に出場します。

県新人大会の活躍

サッカー部

伊藤 岳
(2-4 山形五中)
伊藤航哉
(2-6 蔵王一中)
多田祐人
(2-6 山形七中)
相沢 優
(2-7 南原中)
高橋孝生
(2-7 蔵王一中)
山岸 大
(1-2 山大附中)
加藤大智
(1-6 山形六中)

富樫飛翔
(2-4 天童一中)
佐藤友莉
(2-6 蔵王一中)
塚田悠也
(2-6 米沢二中)
茨木隼平
(2-7 山形十中)
佐藤 楓
(1-2 天童三中)
齋藤 楓
(1-5 宮内中)
工藤虎南
(1-8 山形六中)

柔道部

【男子】

団体

川田健太
(2-4 山形八中)
照屋祥太
(2-7 相原中)
奥山汐瀬
(1-4 横岡中)

木村哲也
(2-6 渡波中)
細矢莉央
(2-7 天童二中)

個人

會田駿斗
(1-7 山辺中) 66kg 級 3位
峯田瀬名
(2-6 山形十中) 73kg 級 3位
木村哲也
(2-6 渡波中) 90kg 級 3位

2位

工藤 駿
(2-5 山形一中)
鈴木詩恩
(2-6 上山北中)
松浦続輝
(2-6 山形六中)
斎藤光希
(2-7 高橋中)
曾根田京平
(1-2 天童一中)
阿部雄大
(1-6 山辺中)

3位

峯田瀬名
(2-6 山形十中)
佐藤 旭
(1-3 山形八中)

【女子】 個人

竹田奎夏 (2-3 山形十中) 57kg 級 1位

空手道部

【男子】 団体組手

石田竜聖
(2-4 明倫中)
齋藤 伸
(1-6 米沢二中)
山田真樹
(1-8 山形三中)

団体形

石田竜聖
(2-4 明倫中)
齋藤 伸
(1-6 米沢二中)
佐藤紗穂
(1-7 明倫中)

個人組手

石田竜聖 (2-4 明倫中) -61kg 級 1位
佐藤紗穂 (1-7 鶴岡一中) -61kg 級 2位
齋藤 伸 (1-6 米沢二中) -61kg 級 3位

個人形

齋藤 伸 (1-6 米沢二中) 3位

男子陸上競技部 川口航士郎

今年の県高校駅伝では、僅か16秒差で全国高校駅伝の切符を逃した昨年の悔しさを糧にチーム一丸となり、激戦の末、全国高校駅伝の切符を勝ち取ることができました。全国の舞台では、これまで私達に協力して下さった多くの方々に感謝の気持ちを込め、県高校新記録更新を目標に精一杯頑張ります。

女子陸上競技部 岸 汐理

私たち女子陸上競技部は、県高校駅伝で初の優勝を勝ち取ることができました。最後まで自分がやってきたことを信じて、仲間を信じて走ることができました。応援ありがとうございました。

全国大会では、自分に負けず最後まで集中して走って、応援してくださる方々、支えてくださる方々へ恩返しの走りをしてきます。

全国高校柔道選手権県予選会

11月25日(土)と26日(日)、山形県県体育館にて開催された第40回全国高等学校柔道選手権大会山形県予選会において下記の成績を収めました。

成績

男子団体

3位

川田健太
(2-4 山形八中)
木村哲也
(2-6 渡波中)
細谷莉央
(2-6 天童二中)
峯田瀬名
(2-6 山形十中)
照屋祥太
(2-7 相原中)
佐藤 旭
(1-3 山形八中)
渋谷麻斗
(1-5 陵東中)

個人

會田駿斗 (1-7 山辺中) 66kg 級 3位
東北大会出場
峯田瀬名 (2-6 山形十中) 73kg 級 3位
東北大会出場
竹田奎夏 (2-3 山形十中) 57kg 級 1位
全国大会・東北大会出場

野球部

秋季山形県高等学校野球

1年生大会

準優勝

選手

平山健太郎
(1-2 山形六中)
小関祥太
(1-3 山形一中)
今野 彦
(1-4 東根三中)
相原健人
(1-6 山形十中)
細谷羅衣
(1-6 金井中)
米山 風
(1-7 八景中)
結城迅都
(1-8 天童三中)
記録員
堀 汐音
(1-2 山形十中)

山崎航洋
(1-2 山形六中)
新井公陽
(1-4 稲佐二中)
根本勝大郎
(1-5 大森十中)
河野 央
(1-6 山形五中)
伊藤武藏
(1-7 尾花沢中)
高橋尚人
(1-8 天童二中)
依田雅樹
(1-8 八幡中)

梅本大夢
(1-3 神町中)
伊藤慧瑠
(1-4 川西中)
三坂拓也
(1-5 尾花沢中)
菅藤純一朗
(1-6 尾花沢中)
早坂勇大
(1-7 山形六中)
関 廉成
(1-8 天童一中)

齋藤 聖
(3-2 金井中)
小池実希
(3-4 米沢一中)
丸山 彩
(3-7 米沢二中)
佐藤 月
(2-3 白鷹中)
吉田瑠華
(2-5 山形六中)
中村星南
(2-7 上山北中)
佐藤由己之
(1-6 角館中)

工藤 聖
(3-3 山形一中)
片田綾華
(3-5 上山北中)
荒井 蘭
(2-3 山形六中)
宇津井未来
(2-5 陵東中)
中里 萌
(2-6 葉山中)
吉田愛望
(2-7 赤湯中)
伊藤聖奈
(1-8 米沢一中)

佐藤璃奈
(3-3 上山南中)
林里々夏
(3-5 米沢一中)
加藤宮伶亞
(2-3 米沢七中)
山科 藍
(2-5 神町中)
佐藤愛香
(2-7 山形四中)
神野里穂
(1-6 山形十中)
林佑里香
(1-8 米沢一中)

女子バスケットボール部

山形県高等学校

バスケットボール選抜優勝大会

第3位

第3回 オープンスクール



10月22日(日)に3回目のオープンスクールを開催し、多数の中学生と保護者が参加しました。1時間目に全体会を行い、2時間目に授業を、3時間目に部活動を体験し、本校の学校生活を味わいました。



芋煮会

10月11日(火)、3年生の芋煮会が実施されました。天気にも恵まれ、須川河川敷公園で、クラス毎にまとまっておいしい芋煮を頬張りました。

続いて10月30日(月)に1年生が行いました。あいにくの天気で、雨が降る場面がありましたが、山形の秋の風物詩を満喫しました。

3学年 10/11



1学年 10/30



生徒会選挙・第2回生徒総会

生徒会新役員を決める選挙が10月10日(火)に行われ、下記の生徒が選ばれました。

会長	鈴木	茉侑	(2-1 沖郷中)
副会長	大内	喜晴	(2-7 山形四中)
副会長	斎藤	楓真	(1-2 蔡王一中)
議長	黒澤	未来	(2-2 長井北中)
副議長	鈴木	渢太	(1-2 天童三中)

10月24日(火)には新執行部の運営による生徒会総会が開催され、1年間の総括と来年度の目標・活動計画について討議されました。新執行部のスローガンは新校舎に移転後の本校の発展を願い『進化～繋ぐ伝統・興せ未来～』に決まりました。全校生徒の声をくみ取りながらより良い学校をつくろうと執行部一同意欲に燃えています。



震災復興支援ボランティア

8月19日(土)に行われた生徒会執行部5名による現地視察を経て、今年は10月に2回の被災地支援ボランティアが実施されました。

10月14日(土)、28日(土)にそれぞれ、毎年訪れている石巻市の牡鹿半島・谷川浜でホヤの種床作りの手伝いを行いました。今年は、学年や進路による優先を付けず、広く呼び掛けた結果、非常に意識の高い生徒たちが申込み、参加をしました。震災から6年が経過した今もこうして現地に訪れて活動を行っているのは県内でも数少ない取り組みです。



10月14日(土) 石巻市牡鹿半島 19名参加



10月28日(土) 石巻市牡鹿半島 11名参加

新校舎落成記念式典が行われました

11月24日(金)、この日の東海大学山形高校は新校舎落成を記念したイベントが続きました。午後から行われた新校舎落成記念式典では生徒会イベントも行われ、阿部校長と鈴木生徒会長の挨拶のあと、旧校舎に対する想いを込めてFUNKY MONKEY BABYSの「ありがとう」を生徒全員で合唱しました。

記念式典の終了後、祝賀会参列者や関係者の新校舎内覧会が開かれ、関係者120名が新たな学び舎を視察しました。

旧校舎は昭和40年代から増改築を行い、耐震化と老朽化対策が課題となっていました。新校舎は鉄筋コンクリート3階建で、普通教室、図書館機能を持つメディアセンター、理科室、美術室、音楽室などの各種教室を配置した機能性の高いものとなっています。そのほかの整備事業としては新校舎の他、鉄骨平屋の第二体育館、第一体育館一階部分に武道場と卓球場が整備されました。旧校舎は来年3月までに解体する予定になっています。内覧会の参加者は新校舎の素晴らしさに感嘆の声を上げていました。生徒たちは11月20日から新校舎を利用しています。



PTA環境部花壇とプランター整理

6月18日(日)、PTA環境部事業第1回花壇整備が行われました。保護者・教職員・生徒を合わせて33名が参加しました。「花のひこうき」の戎野さんから植替えのレクチャーをしていただきました。ポットを並べて全体の配置を決めてからポットから苗を取り出し、根元の土を指でくるりと1周撫でて土を落とすと、害虫も一緒に落ちるそうです。また、根を3か所つまんでおくとそこから新しい根が伸びてくるそうで、説明後に、早速大型のプランターにとりかかりました。

花壇は前日、柔道部の生徒たちが、古い花の株を抜いて整地してくれていたので、すぐ全体のレイアウトを決め、同じように植え始めることができました。すべて植えたのち、花をつまみ取ってしまいます。そうすることで大きな株になるとのことです。

1時間余りで作業が完了しました。参加していただいた皆様、ありがとうございました。



PTA花壇の整備を終えて

PTA環境部長 向田真紀

例年6月中旬と10月下旬に行われる校門前花壇とプランターに花を植える活動がありますが、今年度は校舎建て替えのため6月中旬のみの活動となりました。

戎野さんのご指導のもと、校長先生はじめ、先生方、野球部部員の皆さん、多数の環境部役員の皆さんに参加していただき、たくさんの花の苗が、次々に花壇やプランターに植えられ、スムーズに作業を終えることができました。ご協力ありがとうございました。

PTA研修旅行

11月3日(金)文化の日、文化部主催のPTA研修旅行に参加しました。朝7時にバスで学校を出発し、東北道・磐越道から会津の山中へ。今回の行き先は会津西街道「大内宿」。寄棟造りの茅葺民家が立ち並び、江戸時代の宿場を今に残す保存集落は、まさに時を超えた空間。絶好の秋晴れと紅葉の真っ最中と相まって、素晴らしいひと時でした。人気の観光地とあって、街道は人であふれ、交通渋滞が心配されましたが、タイミング良く乗り切り、昼食は会津若松市内の旧海産物問屋の渋川問屋にて会津郷土料理を堪能。続いて、定番の会津・鶴ヶ城を見学し、各々お土産を買って帰路へ。

今回の参加者は阿部校長ら先生方3名と保護者13名。美熟女ガイドさんのトークも楽しく、終始笑いの車内。保護者の皆様! 次回ぜひご参加の価値あります。最後に、帰りの車内で爆睡だったPTA担当伊藤先生による万全のご準備、ご労苦に心から感謝いたします。



第33回同窓会総会

11月11日(土)に山形市内の国際ホテルにおいて、33回目となる同窓会総会が開催されました。今回は役員改選の年で、新会長に熊坂靖之さん(前副会長)、副会長に常川としえさん(留任)、結城正樹さん(前事務局長)、正野晶久さん(新任)、事務局長に大滝康雄さん(新任)が承認されました。

総会後の懇親会は、昭和62年、昭和63年、平成10年、平成20年3月の卒業生を中心として行われました。今年は約100名の参加者があり、本校卒業生で歌手活動をしているchiholicheartさんをゲストにお招きして大盛況に終えることが出来ました。今年も無事に総会懇親会を終えることができました。実行委員の皆さんと同窓会役員の皆さんのご尽力に、深く感謝いたします。

市民講座

市民講座開催報告

第3回 10月21日(土) 講師 結城晃一郎氏 情報を伝えるということ

株式会社テレビ山形の結城晃一郎アナウンサーをお招きし、10月21日(土)、本校第一体育館にて、第3回市民講座が開催されました。

前年度まで市民講座を担当された本校田村先生の娘さんと、結城アナウンサーのお子さんが同級生で、顔馴染みであるということから、山形の「大物有名人」をお迎えしてのこの企画は実現したのでした。当日は、800名を超える本校の生徒も参加し、『高校現代文明論』の授業という側面も併せ持つ形で、含蓄のある・楽しい時間が、「喋りのワンダーランド」という形で、体育館の中を駆け巡りました。

映画「スターウォーズ」の大ファンであり、アナウンサーであることの役得を得ながらも、普通の地方局アナウンサーでは経験・体験できない裏話を、数々とお聞かせいただきました。「こんなに素晴らしい場面を、こんな間近で」といったアナウンサーであるが故の役得と、それだからこそ「表層だけを伝えるのではなく、表には見えない『裏での頑張り』や、『その先にあるものは一体何なのか』までを考え、言葉で表現する責任がある」という話に、「アナウンサー魂」を感じました。

参加された一般の方からの感極まってのお礼の言葉や、テレビ局に携わる結城アナウンサーであるが故、手にできる「非売品のプレゼント」もあり、喋りのワンダーランドは、大盛況の中に幕を閉じました。



第4回 10月28日(土) 講師 本校情報管理室 パソコン教室～Word2010で年賀状にチャンジ!!～

本校市民講座の中軸とも言える「パソコン講座」。新校舎への移転という大事業が11月中旬に控えているため、今年度は10月28日(土)と、いつもよりちょっと早めに開催されました。

「学校の持つ力を、社会に・地元に還元することが学校の使命である」という標榜の下、産声をあげた本校「市民講座」。その歴史が脈々と受け継がれているのがこの講座でもあります。蔵王第一学区青少年健全育成連絡協議会との共同事業でもあり、最初に同協議会会長の守谷浩さんにご挨拶をいただき、早速、年賀状作りに取り組みました。大変便利なツールのコンピューターではありますが、思い通りに行かない場面でも出てこようものなら、それ自体がパニックとなってしまいます。そこは、東海大山形の「選りすぐりの講師陣」。受講者の手が止まるとき、直ぐにその場に駆け付け、受講者の頭の中にあるイメージが、忠実に画面上に再現されました。試し刷り用のハガキが印刷されると、思わずニンマリ。デジタルデータを家庭に持ち帰り、一足早く、年越しに向けての準備が一つ完了しました。



12月

- 22日(金) 冬期休業 (～1/8月 祝日)
- 冬期講習(～26火) (総合進学1・2年)
- 冬期講習(～27水) (特進)
- 学校閉鎖 (～1/3日)

1月

- 9日(火) ①身だしなみ点検、②全校集会
(1・2年) ③～⑤課題テスト、⑥LHR
(3年) ③～⑤授業、⑥LHR
- 大学入試センター試験激励会 (特進)
- 13日(土) 授業日 (月曜日④⑤⑥⑦)
- 就職ガイダンス (2年)
- 大学入試センター試験 (～14日日)
- アンサンブルコンテスト県大会 (～15日日)
- 15日(月) 公務員講座
- 17日(水) 各種委員会

18日(木) 4時間授業 (金曜日③④⑤⑥)

午後 入試準備

- 19日(金) 入学試験 (推薦入試I、学業奨学生入試)
- 20日(土) 入試事務 (校舎内立ち入り禁止)
- 22日(月) 3時間授業 (月曜日④⑤⑥ベースの臨時時間割)
合格発表
- 23日(火) 後期期末試験 (3年) (～26日金)
- 25日(木) 公務員講座学習会
- 27日(土) 授業日 (月①②③)
- 専門学校ガイダンス (2年)
- 3年生自由登校
- 公欠者追試
- 答案返却 (3年)
- 29日(月) 4時間授業 (木曜日③④⑤⑥)
- 午後 入試準備
- 31日(水) 入学試験 (一般入試)

ベストティーチャー (菊地 正樹先生)

菊地 正樹(きくち まさき) 3年1組担任 ディベート部顧問

宮城県仙台第一高等学校、山形大学人文学部(英語学)卒業。中学生の頃、友人に数学を教え、「先生より上手いよ。」と言わされた言葉で教職を目指す。大学在学中は、学習塾講師や家庭教師のアルバイトに明け暮れた。大学卒業後、1995年より本校、特進コースの担任として勤務し、23年目を迎える。ディベートについては、東海大学の研修で初めて学んだ。毎年、東海大学学園オリンピックに出場させている。また、山形大学においても講義の一端を担っている。



——教師を目指したきっかけは何ですか？

『中学生の頃、人前に出ることが苦手で、人前に出られる人に対して憧れを持っていました。その中で、友達に勉強を教えたときに「分かりやすい」と言われ、自分に自信持てるようになりました。これをきっかけに教える職業である教師を目指しました。』

——最初から英語の教師を目指したのですか？

『好きな教科は、数学と理科です。特に理科の実験がマジックみたいで、化学か物理の教師を目指そうと考えていました。高校では、化学部に入り、実験をしたり、薬品の調整をしたり様々な体験をしました。大学は、教員免許の取れる理学部の化学科か、教育学部の理科を志望していました。ですが、理系を選択する上で数学の点数が大きく動き、限界を感じていました。英語も好きだったことと、できたらかっこいいなと思うこともあり、文系で勝負して、英語の教師を目指そうと決めました。』

——担任として生徒と関わるうえでどのようなことを意識していますか？

『23年前の特進コースは、滑り止めと考えて受験する人が多く、来たいと志望してくる人が少なかった。初担任の初日、クラスに入った時に誰も電気をつけず、下に向いて待っていました。その姿を見た時に、この学校に来て良かったと思わせたいと考えるようになりました。また、合格体験をさせてあげたいとも考えました。自分の努力で力をつけて、志望校に合格することで、自尊心を取り戻せばとも思っていました。それ以来、生徒と関わるうえで本校に来てよかったです。』

『思えるようにすることと成功体験をさせることを常に意識しています。』

——そのクラスはどのように変化していきましたか？

『特進コース担任に本山先生という先生がいました。良い意味で関わってくれ、SHRも見に来てくれたりしました。「生徒が見ていないのにどうして話をしているの？」「掃除の指導は？」など教師として育ててもらいました。同時に、教え方が上手で、生徒たちもついてくる本山先生を超えていくようになっていました。私が初担任をしたクラスは、努力を重ね、2年生の夏に本山先生のクラスの模擬試験の結果を超えることができました。生徒たちも力をつけて、学校にくるのが楽しくなっていました。失敗しても、保護者や先生から支えてもらうことができました。』

——先ほどのクラスのようにうまくいった例ばかりではないと思いますが？

『そうですね。どんな時でも基本は、「この学校に来てよかった」と思えるようにすることを考えて指導に当たります。表情を見て暗いときは声をかけたり、学習ノートにコメントしたりしています。基本は聞くことを意識して指導してきました。』

——教師として必要なことは何だと思いますか？

『教師は、授業を完璧なものにすることが重要だと思っています。教える立場の教師はもっと勉強し、生徒に分かる授業をすることが大切だと考えます。生徒には、勉強がおもしろいと思ってもらいたいので、授業評価アンケートが良くても成績がついてこないのを悔しいと感じています。学習内容のレベルを下げて教えるのは簡単だけれども、生徒の自尊心を傷つけてしまうと思っていて、内容を理解するためにも、生徒たちには勉強してもらいたいと強く思います。それ以上に教師は勉強し、外に出て情報を手に入れないとダメだと考えて、勉強会に参加しました。現在はなかなか参加できないですが、スキルアップは必要だと思います。』

——生徒たちに一言お願いします。

『高校生だからこそ学んでほしいです。物事を知らないと損をします。空気が読めなくなります。教養もなく、努力する事もできなくなります。自分の学力にあぐらいでいいので、しっかり勉強してください。』

編集後記

10月と11月は新校舎に関する行事が続きました。10月31日には新校舎が完成。そして先生方と生徒諸君の手による移設。11月24日に行われた新校舎落成記念式後の生徒会企画では、生徒全員によるFUNKY MONKEY BABYSの「ありがとう」の合唱など、生徒諸君の結束力を痛感しました。そのひと月後の12月24日、本校の男・女陸上競技部が『都大路』を激走します。どうぞ東海大学山形高等学校の結束力をご覧ください。